

中央図書館機能に関する検討報告書（案）

令和元年 11 月 日

中津川市図書館機能検討委員会

目 次

1、	はじめに	
2、	検討してきた内容の報告	
	I、	求められる図書館機能について
	II、	図書館の蔵書冊数、延べ床面積の目安について
	III、	その他、計画策定にあたり必要な内容
3、	参考資料		
	1	機能検討委員会名簿
	2	会議の記録

1. はじめに

これまでの経過

平成30年5月に図書館構想の策定と推進を趣旨とする「新図書館構想の早期実現を求める請願」が市議会に提出され、平成30年6月に市議会において採択されました。

この請願採択を受けて中津川市は、平成30年10月に「生涯学習施設構想検討委員会準備会」を立ち上げ、その中で中央図書館の現状を踏まえて議論を進め、令和元年5月30日に中津川市新町で整備予定の複合施設への移転を軸に検討するべきとの方向性を出しました。

また、令和元年5月に「中津川市リニアを活用したまちづくり推進市民会議」から「中津川市リニアを活用したまちづくりにかかる提言書」が市長に提出され、その中で「拠点施設となる複合施設の整備にあたっては、老朽化して手狭になった中央図書館の拡張移転を検討するとともに、集客力と特色ある学びの拠点にふさわしい規模や図書機能についてよく検討すること」との提言がされました。

これまで中央図書館は、図書館長の全国公募や平成25年10月の「市民読書条例」の施行を経て、市民ボランティア団体との連携による毎月の企画展示や本の普及活動に注力し、読書はがきコンクールの開催や市内小学校、中学校への配本の充実をはじめとする「中津川市子ども読書推進活動」の諸事業を展開し、利用者が年間20万人に達するなど、ソフト事業面では大きな成果を上げて来たところです。

これらの活動を背景に、中央図書館のハード面の老朽化や手狭さといった課題の解決に向けて、中津川市では「中津川市図書館機能検討委員会（以下「委員会」という）」を令和元年7月に設置し、図書館に求められる機能などに関して意見を求めました。

2. 検討してきた内容の報告

市から委員会に意見を求められた内容は、①求められる図書館機能、②図書館の蔵書冊数と延べ床面積の目安、③その他計画策定にあたり必要な内容の3点であり、検討してきた内容を、以下のとおり報告します。

I. 中央図書館に求められる機能について

検討にあたっては、若者や図書館利用関係団体、公民館利用団体、文化協会などとの意見交換会でいただいた貴重な意見も含めてまとめました。

■全館共通

①すべての市民が安心して利用できるユニバーサルデザインの採用

- ・障がいのある人や幼児、高齢者までが安心して利用できる、バリアフリーによる施設設備
- ・誰にでもわかりやすく気配りが感じられる案内サイン表示

②開放的で利用しやすい雰囲気漂う施設空間

- ・フロアの天井が高く開放的な空間設計
- ・会話程度の雑音を許容するエリアと静かな読書環境の確保
- ・にぎわい、交流などをイメージする場所は、長い時間滞在したくなる癒しの空間
- ・幼児や親子、高齢者それぞれに居心地よい空間

③情報化やグローバル化の時代に対応した設備

- ・図書貸出の自動化（自動貸出返却機器の導入や図書 IC チップ化など）
- ・電子図書、デジタル映像、デジタル音源など多様な情報ツールの活用
- ・インターネットを活用した広域的な図書館ネットワークによるサービス連携
- ・外国からの居住者や観光客などへの対応に資する多言語による情報提供を可能とする設備

④安心して自動車が止められる駐車場の確保と動線計画の検討

- ・施設に近い場所での駐車場の確保
- ・イベント時や混雑時などでも十分に止められる駐車場の確保
- ・遠隔地域からの子どもや高齢者などの交通弱者に対する誘導計画の検討と実施

■諸室・各エリア

(1)一般書架

⑤目当ての本や情報に迷わず最短でたどり着けるサポート

- ・書架の並び方、案内サインなど、目当ての本を探しやすくする工夫
- ・本を取りやすく戻しやすい書架と管理にも配慮した配置
- ・図書貸出の自動化と検索システムとの連動に対応した図書の配置
- ・表紙だしやジャンル分けなどにより、本の位置をわかりやすくする工夫

⑥見通しがよく、統一感とデザイン性がある使いやすい書架空間

- ・一般書架フロアが家具等を含めて、統一感ある色調とデザインで構成
- ・書架はできるだけ低くして、見通しよく開放感を効果的に演出すること
- ・閲覧用椅子などの家具等は機能性にも配慮

⑦本との新しい出会いをサポートするサービス

- ・新刊コーナー、話題本コーナーなどの設置
- ・生活・時事などトピックスに関連した市民に読んでほしい本の紹介
- ・司書力を発揮し、蔵書の中から市民に勧めたい本の発掘と紹介、発信

⑧地域や全国、海外で話題となっている本や情報の発信

- ・展示コーナーでの、地域の話題に焦点をあてた本やトピックス等の情報発信
- ・映像や写真や新聞記事、地域ミニコミ紙などを活用した情報発信

(2)児童書コーナー

⑨子どもたちが本に親しみ、楽しく過ごせる空間の整備

- ・子どもたちが目的の本を探し出し、じっくり読める場所
- ・親子でワクワク楽しく本と親しめる空間
- ・子どもたちがいつも来たくなるような児童書の充実
- ・読み聞かせや紙芝居、お話会などができる空間
- ・幼児たちが大きな声を出しても周りに迷惑にならない空間
- ・子どもたちが遊具などを通じて遊びや交流活動もできる空間
- ・明るく、優しい、楽しさのあるデザイン性のある空間づくり

(3)ヤングアダルトコーナー

⑩若者のライフスタイルや感性に合わせた居場所づくり

- ・下校時や休日の小学生から中学生、高校生、大学生までを対象とした居場所
- ・多少の談笑も許容され、友人との学習やコミュニケーションがはずむ空間
- ・漫画やライトノベルブックなど、中学生、高校生向けの図書の充実

(4)学習スペース

⑪静かに集中できる学習スペース

- ・学習や調べものに集中できる専用学習スペースの確保
- ・十分な席数とWi-Fiや照明など学習をサポートする設備

- ・パソコンの音が周りの迷惑とならないための専用席の配置
- ・高校生や大学生だけでなく、大人の利用も考慮した設定

(5)ブラウジングスペース・カフェ

⑫利用者がくつろいでリラックスできる情報収集空間

- ・多様な椅子を配置してお気に入りの席を選べるくつろぎ閲覧スペース
- ・新聞や雑誌をゆったりと読んだり、スマートフォンやタブレットを見たりして、自分だけの時間をリラックスして過ごせる空間

⑬くつろぎ感と魅力づくりのためのカフェの設置

- ・コーヒーやジュース、軽食等、利用者がくつろいで滞在するための飲食提供
- ・地産品や利用者のニーズに応じた商品の販売の研究

⑭暮らしに関わる身近な情報が得られる場所

- ・多種類の新聞や雑誌、情報誌が閲覧でき、欲しい情報が入手できる場所
- ・中津川市の暮らしに関わる情報や行政各分野の情報が入手できる場所

(7)郷土資料コーナー

⑮中津川市の歴史・文化・地勢・自然などに関する情報の発信

- ・郷土の誇るべき先人や賢人を紹介する資料の展示
- ・地域資源となる多様な資料の公開
- ・伝統芸能や地域行事や各種行事のデジタルアーカイブス化
- ・合併から現在までの地域の成り立ち等を紹介する資料公開
- ・中津川市の歴史文化資料のデジタルアーカイブス化

(8)事務所・作業スペース

⑯職員がサービスしやすく、安心して働ける作業環境の確保

- ・効率的な職員の作業動線の確保
- ・職員の作業動線を意識した各諸室やコーナーの配置
- ・学校や各施設への配本に必要な作業スペースと書架スペースの確保
- ・配本用自動車の車庫配置と効率的な作業動線の設計
- ・職員更衣室、休憩室、職員トイレなどの確保
- ・視覚障がい者用の点字図書作成や聴覚障がい者用の図書朗読、録音作業スペースの確保

(9)レファレンスカウンター

⑰図書情報のレファレンスカウンターの設置

- ・利用者からの問合せや資料案内など司書としての充実した業務窓口
- ・市民の生活、仕事、学校、産業、行政など各分野の課題解決の支援

(10) サービスカウンター

⑩利用者の様々な相談に対応するサービスカウンターの設置

- ・貸出に関するサービスを始め、図書館の利用や資料情報に関する相談などへの対応
- ・児童、ヤングアダルト、一般、高齢者や障がいがある人や外国の人などからの様々な相談への対応

(11) 閉架書庫

⑪効率的に空間を活用して蔵書する集密書庫の設置

- ・必要な収蔵数と将来に向けた資料の保存に対応するスペースの確保
- ・連携する作業との関係や安全性、効率性に配慮した空間設計
- ・管理面から書庫のライフサイクルコストを考慮した設計
- ・開架書庫と閉架書庫に加え、公開書庫の採用の研究

(12) 多目的スペース及び活動室

⑫多目的かつ柔軟に活用できるスペースや活動室の設置

- ・展示スペース及び講演会などのイベントが開催できるスペース
- ・読書活動や関係団体等の研修や会議等で使える活動室
- ・ボランティア活動の団体等が共用して使える活動室

(13) トイレ・授乳室

⑬全ての利用者に安心して利用いただけるレストルームの設置

- ・清潔感があり、子育て世代や女性、障がい者のニーズに対応した空間づくり
- ・安全面に考慮した管理やメンテナンスがしやすい設計を採用
- ・子育て世代が安心して滞在し利用できるよう授乳室や託児室の設置

Ⅱ. 図書館の蔵書冊数、延べ床面積の目安について

中央図書館の蔵書冊数については、地域図書館や公民館図書室との連携も含めて検討し、特に日本図書館協会の示す基準値を参考にして、当市の人口規模に相応しい水準としました。

市全体の蔵書冊数を約 35 万冊として、中央図書館には約 23.5 万冊の蔵書を目安にしました。

また、延べ床面積では、3,600 m²を目安としました。

* 蔵書冊数の目安

() 内 2017 年現在実績

* 中央図書館	済美図書館	地域館計	合 計
約 235,000 冊 (171,354 冊)	約 30,000 冊 (29,259 冊)	約 85,000 冊 (82,663 冊)	約 350,000 冊 (283,276 冊)

* 延べ床面積の目安

() 内現在の面積

中央図書館	済美図書館	合 計
約 3,600 m ² (1,487 m ²)	165 m ² (165 m ²)	約 3,800 m ² (1,652 m ²)

(根拠)

公立図書館の任務と目標 (日本図書館協会) 「図書館システム整備のための数値基準」
2025 年人口推計 : 72,748 人で試算

* 中央図書館機能面積の目安

機 能(想定される諸室など)	目 安
書架・閲覧スペース (一般書架、児童書コーナー、ヤングアダルトコーナー、ブラウジングコーナー、郷土資料コーナーなど)	約 1,900 m ²
学習スペース	約 250 m ²
管理スペース (事務所、作業スペース、サービスカウンター、書庫、倉庫など)	約 500 m ²
多目的スペース、活動室など	約 250 m ²
共用部 (エントランス、階段、エレベーター、廊下、トイレ、機械室等)	約 700 m ²
合計	約 3,600 m ²

Ⅲ. その他、計画策定にあたり必要な内容

- ・中央図書館は、施設の複合化による新たな利用者の取り込みと学びの拠点としての図書館活動の充実と拡大とともに、**学校図書館、公民館図書室との連携をさらに強化して、市内全域で充実したサービス網を提供ことも**求められています。
- ・サービス面では、市民一人ひとりに対して身近な図書館としての存在を意識できるような新たな展開が必要であり、それには、人口減少という社会変容の中で**市民ニーズを敏感にとらえ事業化していく「図書館力」**が求められています。
- ・複合施設の運営にあたっては、外国語やPC、情報ツールに精通した職員をはじめとして、子育て、高齢者、障がいのある人への対応など**幅広い業務に即応できる体制づくり**が重要なポイントであり、**高い意識や誇りを持って業務に取り組んでいく職員の育成**も求められています。
- ・これからの図書館像は、従来の活動にとらわれず、市民の**誰もが行きたくなる魅力と個性を持った図書館**であり、そうした特色を持って、永く市民から親しまれ続ける中津川市の中央図書館として建設され、諸活動が展開されることを期待しています。

以上、この報告書の内容が実現されることを祈念し、報告とします。

中津川市図書館機能検討委員会

3. 参考資料

①機能検討委員会名簿

	氏名	地区	備考
委員長	近藤 信幸	苗木	図書館協議会を代表する者
副委員長	勝野 安和	中津	市内商工業団体推薦
委員	日下部 豊	加子母	市内商工業団体推薦
委員	藤山 仁	中津	中津川市区長会連合会推薦
委員	永冶 千文	蛭川	蛭川地区推薦
委員	梅田 好美	加子母	図書館・読書推進に資する活動を行う者
委員	桑澤 芳江	中津	図書館・読書推進に資する活動を行う者
委員	郷田 恵美	中津	子育て・家庭教育の活動に資する活動を行う者
委員	田中 三雄	中津	中津川商店街連盟推薦
委員	原 美佐子	付知	図書館司書の職にある者

②会議の記録（主な検討事項）

- 第1回 7月 4日(木)15時～
(現在の中央図書館の現状と課題について)
- 第2回 8月27日(火)15時～
(全国の先進事例、求められる図書館機能について)
- 第3回 9月24日(火)15時～
(全国の先進事例、求められる図書館機能について、蔵書冊数・延床面積規模の目安について)
- 第4回 10月29日(火)15時～
(（仮称）市民交流プラザ中央図書館機能に関する検討報告書(案)について)

・その他、意見交換会等の開催状況

- 7月26日 先進図書館視察 愛知県田原市図書館
- 8月 9日 高校生大学生など若者のワークショップ
- 9月18日 利用団体等との意見交換
- 9月26日 中央公民館友の会との意見交換
- 10月15日 市文化協会理事との意見交換

・会議及び意見交換会等でいただいた意見

- 高校生、大学生のワークショップ
- △○ 第1回～第3回 図書館機能検討委員会
- ▲ 図書館意見交換会
- 図書館スタッフによるワークショップ
- ☆ リニアまちづくり推進プロジェクトチーム
- ◎ 市文化協会理事

諸 室	意 見
全館共通	<ul style="list-style-type: none"> ■ バリアフリー ■ 車椅子でも過ごしやすい ● 車椅子やベビーカーでも利用しやすい ● 廊下や書架の間が広く、段差がない ■ 本棚の角などで怪我をしない工夫 ■ 海外の人でもわかりやすい案内 ■ 子どもでもわかりやすく利用しやすい <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 明るく、開放的な雰囲気 ■ 自然光(図書館奥にも取り入れてほしい) ☆ 野鳥の声や水の音など、リラックスできる音が聞こえてくる ☆ 恵那山や見える窓やテラス ■ 目的なく、ふらっと立ち寄れる、新たな本との出会いの場 ☆ 気軽に会話ができるなど、程よい雑音のある空間 ● 静かなエリアと声を出しても良いエリアとの棲み分け □ 一日中図書館で遊べるくらいの魅力 ▲ アットホームで、居心地の良い場所 ▲ 年配の人の居場所になるような空間 ○ にぎやかな場所はにぎやか、静かな場所は静かにゾーニングされた空間 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■ 全館Wi-Fi完備 ● 全館Wi-Fiにして、館内のどこでもパソコンやスマートフォンが使える環境 □ デジタル化戦略も踏まえた設備 ■ 全てのイスや机の近くに充電スペースがある ● ICタグの導入などによる効率的な図書管理 ☆ 音響や映像通信などを用いた情報の発信 △ 海外から来た人でも図書館に興味を持ってもらえるような情報発信 ● 自動貸出機の設置 ▲ インターネットを使って配本が手配できる

	<p>▲機械化できるところは機械化する</p> <p>▲タグ等による盗難防止対策</p> <p>○電子書籍サービスの提供</p> <p>◎最新の図書館は自動化が重要であるので取り組んでほしい</p>
	<p>☆利用者用の駐車場が近くに十分にある</p> <p>□一番の問題である駐車場が十分確保できるか</p> <p>△交通の便が良く、アクセスしやすい立地</p>
	○内装材で東濃ヒノキを使って欲しい
一般書架	<p>■調べたい内容の本が見つかりやすい図書館(本の並びや検索など)</p> <p>☆分かりやすくジャンル案内がされていて、目当ての本を探しやすい</p> <p>▲すぐに選べて、すぐに借りられる検索システムの整備</p>
	<p>■本棚の高さを低くする</p> <p>●低めの書架で、高齢者でも楽に本を手にとることができる</p> <p>☆本が適度な間隔で配置されていて取りやすい</p> <p>☆様々な場所に配置されているおしゃれな椅子の中から、お気に入りの椅子でリラックスして本を読める</p>
	<p>■NDC 厳守ではなく、ばらばらなジャンルで図書を配置</p> <p>■誰にでもお薦めできる「○○さんのおすすめコーナー」</p> <p>☆「新刊」「話題の本」などの紹介コーナーがあり、今人気の本が選べる</p>
	<p>●時事の話題や季節にちなんだ本や情報の展示</p> <p>●マグネットなどで展示しやすい壁面</p> <p>●写真などの展示に便利なピクチャーレール</p> <p>▲市内各地域に関する企画展示で、地元意識を醸成し、市民交流、融合を図る</p>
児童書コーナー	<p>■子どもが絵本を読むことも、遊ぶこともできるスペース</p> <p>■絵本スペースにおもちゃなどがある</p> <p>☆絵本や児童書に囲まれて、親子でゆっくりと本に親しめる</p> <p>■子どもが騒いでもいいスペース</p> <p>●周りに音が響かない、ガラス張りなど中がみえる、お話しスペース</p> <p>●絵本を面だししやすい書架</p> <p>▲天気に左右されず親子で遊べる空間</p> <p>▲現代の子供に欠けている脚力や手先の器用さなどを育める遊具、設備</p> <p>○魅力的なお話し会の空間。仕切りもしくは可動式で、人形劇なども行える</p> <p>○何回でも行きたくなる、楽しく使ってもらえる空間</p>
ヤング アダルト コーナー	<p>■漫画コーナー(図書館のイメージを変える)</p> <p>●会話や相談をしても良いスペース</p> <p>☆友人たちと宿題やテスト前のグループ学習ができるスペース</p>
学習 スペース	<p>☆静かに、集中して、勉強や調べ物をしたい</p> <p>●研究や、集中して作業する人のための部屋</p> <p>☆自分のパソコンを持ち込み、調べ物をするための設備(電源、Wi-Fiなど)</p> <p>☆タブレットやヘッドホンなどのレンタルサービス</p> <p>●利用予約ができるインターネットサービス</p> <p>○夜は学習室で、昼間の空いている時間帯はボランティアが使える部屋</p>
ブラウジング スペース 飲食	<p>■バーカウンター付き図書館(司書がおすすめの本を紹介してくれる)</p> <p>■コーヒーを飲みながら本を読みたい</p> <p>■カフェ併設</p> <p>■友人と集まる</p> <p>■くつろいで読めるスペース</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■ベッド、足を伸ばせるソファ、マッサージチェア ■寝転がりながらだらだら本が読める ●リラックスできる、座り心地の良い椅子 ☆会話、飲食しながら雑誌や新聞を読めるスペース
	<ul style="list-style-type: none"> ☆広報誌など、市からのお知らせや計画が集積された書架 ●バックナンバーがまとめて置いてある雑誌架
郷土資料コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土の先人・偉人を紹介する展示スペース ●担当者から気軽に展示に関する説明を詳しく聞ける
事務室 作業室	<ul style="list-style-type: none"> ●事務室で作業をしているカウンターの様子が見やすい配置 ☆事務室、カウンター、作業スペース、閉架書庫、配本作業室の配置に配慮し作業効率が良い動線 ●本が傷まない返却ポスト
	<ul style="list-style-type: none"> ●打ち合わせスペースと応接スペース ●職員の休憩スペース ●選書や新刊を受け入れる作業室と、地域や学校へ配本作業する部屋が別に必要
	<ul style="list-style-type: none"> ●職員数に見合う十分な事務機とパソコンの配置 ●建物に隣接した配本車専用駐車場(2台)
サービスカウンター	<ul style="list-style-type: none"> ☆レファレンス窓口としての相談機能 ☆書架→貸出カウンター→玄関とスムーズに移動できる動線 ■孫を連れて行ったときに、孫が喜ぶ本を教えて欲しい ▲利用者に合わせた柔軟なレファレンスサービス ▲司書がクリエイティブな仕事に従事している ◎図書館を良くするために館長など職員、個々の発想を活かす
書庫	<ul style="list-style-type: none"> ●開架書庫と閉架書庫の併用 ●書庫内にも作業スペースと管理用パソコン ●書庫であっても温度湿度管理ができる ▲古い文献、行政資料を保存できる ▲十分な広さの閉架書庫
多目的 スペース 活動室	<ul style="list-style-type: none"> ■趣味づくり(本と体験を組み合わせた取り組み) ●講演会やイベントなどができる、映像、音響装置付きの多目的室 ☆いろいろな企業や市民とのコラボイベント☆ボランティアやサークル活動のできる十分な部屋 ■防音室の中では騒げる ●防音で録音できる部屋 ▲シアター ○図書館の中にサークル活動用の部屋が欲しい ○公民館の貸室はお金が発生する。図書館用にフリーで使える部屋があった方がいい ○子どもたちとワークショップができ、美術館のような絵を描いたりできる「メイカースペース」(制作室)を入れる ○調理室、キッチンスタジオ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■託児所がある ■料理教室 ■BBQができる ●利用者が使えるコイン式のコピー機、印刷機 ☆住民票や戸籍、税証明等の証明発行サービス ○屋上を子どもの遊び場として活用

トイレ	<p>☆車椅子やベビーカーの利用者にも利用しやすいトイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクセスしやすい授乳室と子ども用トイレ ●トイレは、閲覧スペースと離す <p>△清潔感、デザインに優れていて、利用したくなるトイレ</p>
サービス イベント	<ul style="list-style-type: none"> ●商店街との連携事業 ■病院、温泉、足湯、フィットネスジム、カラオケ、スーパー、介護施設、ボウリング場、テニスコート、弓道場併設 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■駅で借りられて、駅で返すことができるシステム ■欲しい資料がすぐに手に入る(海外の本とか) ■市民以外でも借りられ、返却は郵送でも可 ■予約制の移動図書館 ■本のデリバリー ■親が昔借りた本の履歴を調べられるシステム ■高齢者のための送迎システム ■結婚相談、恋愛相談、出会いの場 ■子どもや孫と泊まれる図書館 ■ペットを連れていける ■野菜、動物が育てられる ■老後に昔の写真とかを見ながら同窓会 ▲建物だけでなく選書で個性を出せる ▲忙しい社会人でも利用しやすい ▲祖父母が孫を安心して遊ばせられる、本と関わる機会を作る ▲小中学生も含めて誰もが図書館を利用しやすい交通網の整備 ▲配架、配本の充実。個人宅への手配など

・会議のアドバイザー

愛知工業大学工学部の中井孝幸教授(日本図書館協会委員)には、第2回、第3回、第4回会議と先進図書館視察に参加いただき、参考となる先進図書館の事例の紹介(報告)や当報告書作成にあたり適切な助言をいただきました。